

プロポリスを含有する動物用創傷保護剤の製品化に向けた研究

柴田早苗¹、荒木陽子²、川部美史¹、高島諭¹

1:岐阜大学応用生物科学部、2:アピ株式会社長良川リサーチセンター

犬や猫の創傷管理

小動物臨床現場では、創傷の保護管理が困難であることが多い。その理由として、犬や猫が創部を舐めることによる離解や二次感染が挙げられる。動物によっては、嚴重にガーゼや包帯を巻いても、簡単にそれらを外し、創部を舐め崩してしまう。その舐め崩しを防止するために、アニマルネッカー（図1）や保護服を利用するが、多くの問題がある。そこで、動物に負担をかけないような新しい**動物用創傷保護剤**が望まれている。



図1. アニマルネッカーを装着した犬



図2. 術後離解した術創



図3. プロポリス原塊

グリーンプロポリスとは

グリーンプロポリスはブラジル原産であり、ミツバチが植物（バッカリス）から集めて形成された固形天然物（図3）である。プロポリスには多くの生理活性があり、**抗菌作用や抗炎症作用**が代表的である。プロポリスは抗菌活性に加えて、犬が嫌がる渋味や苦味を有している。以上のことから、プロポリスを利用した動物用創傷保護材を開発することによって、動物のQOLを低下させることなく、安価に術創管理をすることができると考えている。

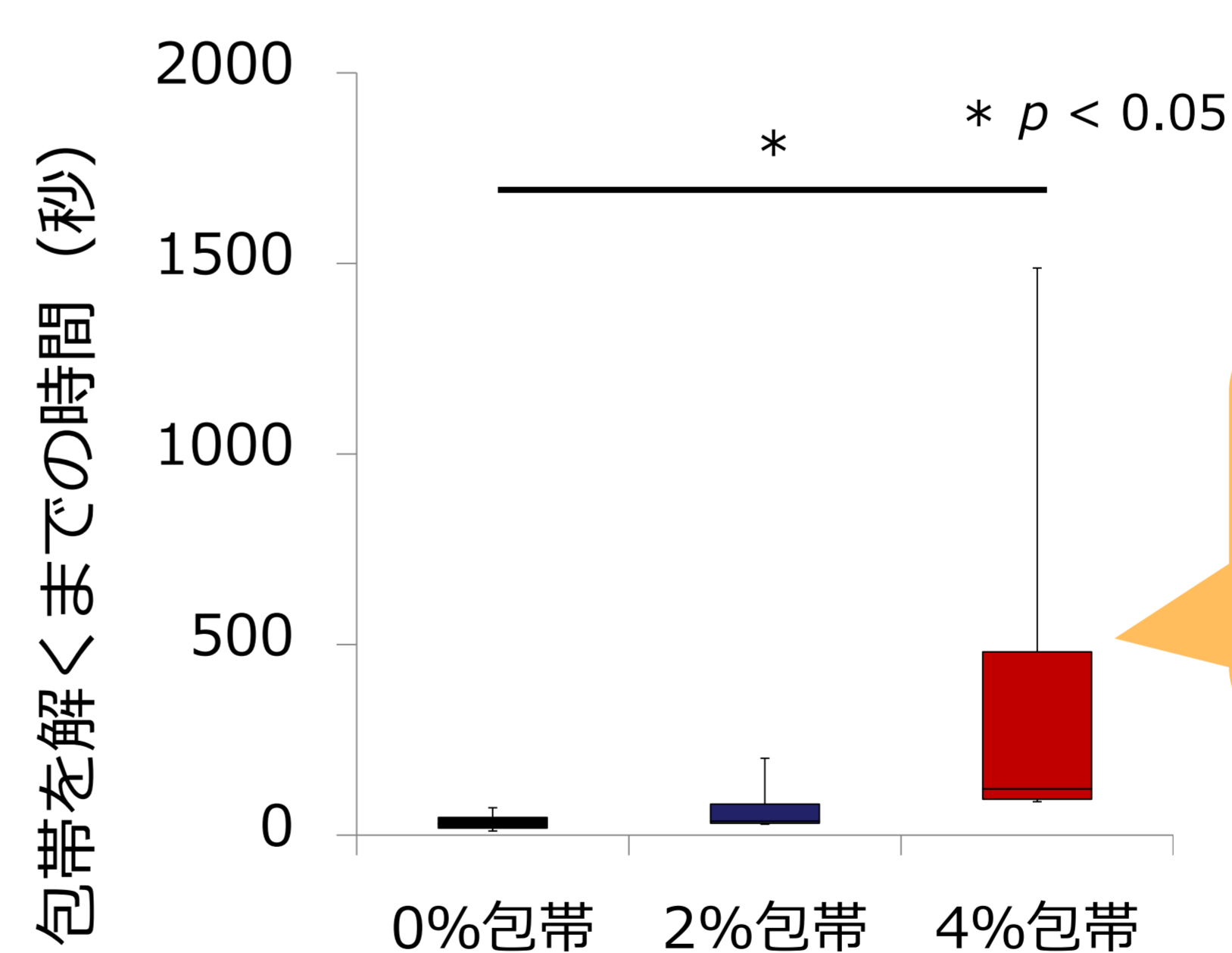
開発状況・我々が目指すイメージ

- 4%プロポリスを包帯に塗布したもの：**4%包帯**
- 2%プロポリスを包帯に塗布したもの：**2%包帯**
- プロポリスを塗布しないもの：**0%包帯**



前肢の趾間にしっかり巻きつける

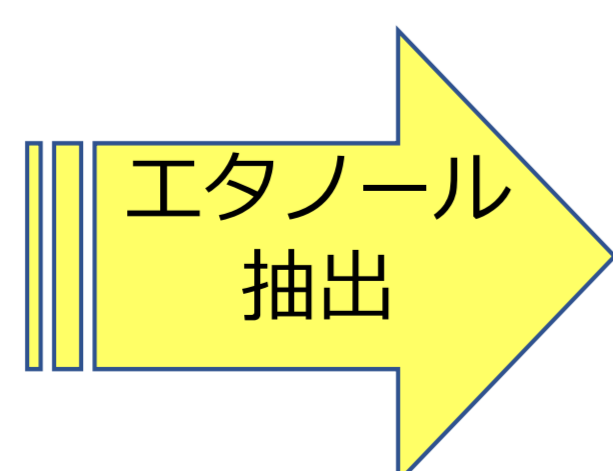
犬4頭に対して、作製した包帯を右前肢の趾間に巻き、口を使って解くまでの時間を計測した。



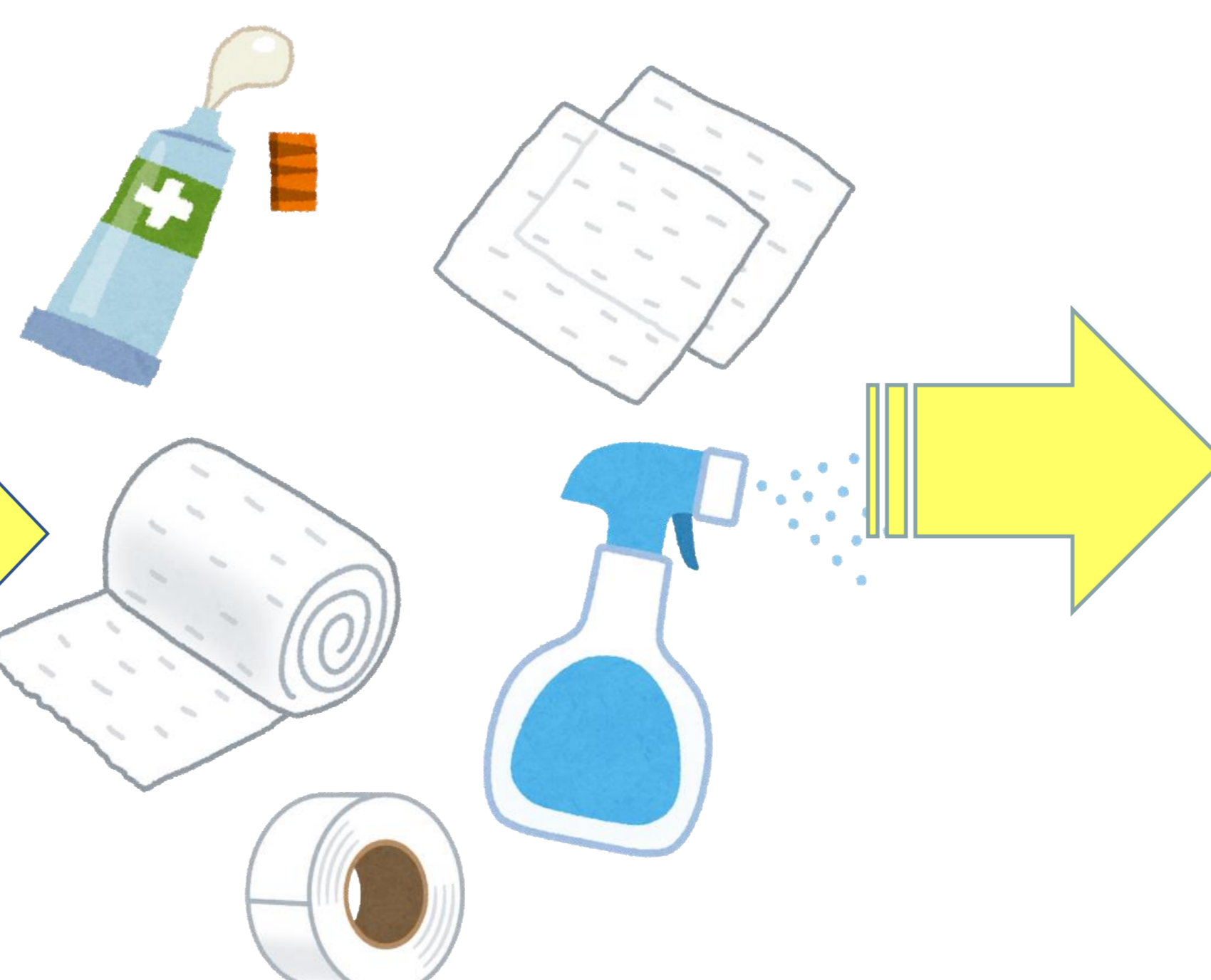
4%包帯を解くまでに時間を要した



プロポリス原塊



プロポリス抽出物



傷を舐めない!

